

平成22年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立舟入小学校

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成22年4月20日（火）

3 調査方式

抽出調査・・・文部科学省が調査対象として抽出した学校において、調査を実施する。

希望利用による調査・・・文部科学省より問題等の提供を受け、各学校において、調査を実施する。

4 調査実施学校数（公立学校）等

区 分	抽出調査実施校数（校）		調査実施者数（人）		
	国	県	国	県	学校
小学校第6学年	5,372	137	264,193	6,276	101
中学校第3学年	4,347	121	421,281	11,297	—

5 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

6 各教科の平均正答率

【小学校】

国語						算数					
A問題			B問題			A問題			B問題		
国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校
83.3	85.3	88.3	77.8	81.1	82.3	74.2	77.3	78.0	49.3	51.9	53.4

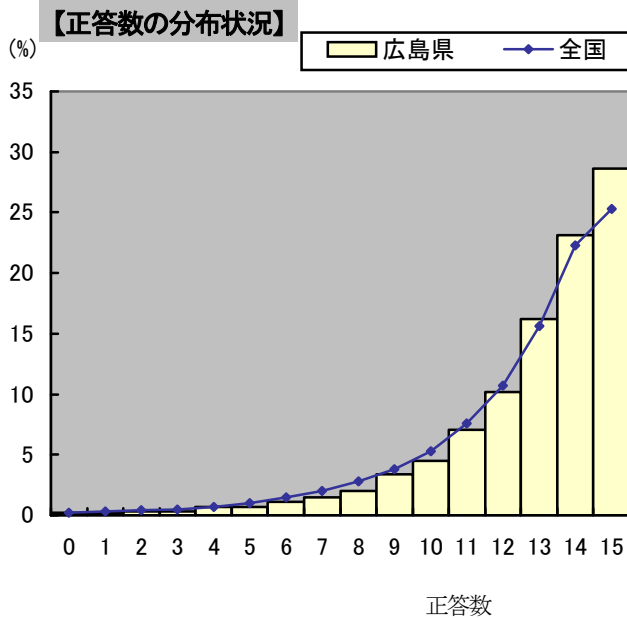
【中学校】

国語						数学					
A問題			B問題			A問題			B問題		
国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校
75.1	76.0	—	65.3	65.7	—	64.6	64.9	—	43.3	43.3	—

7 各教科の調査結果の概要

【小学校国語】

国語A



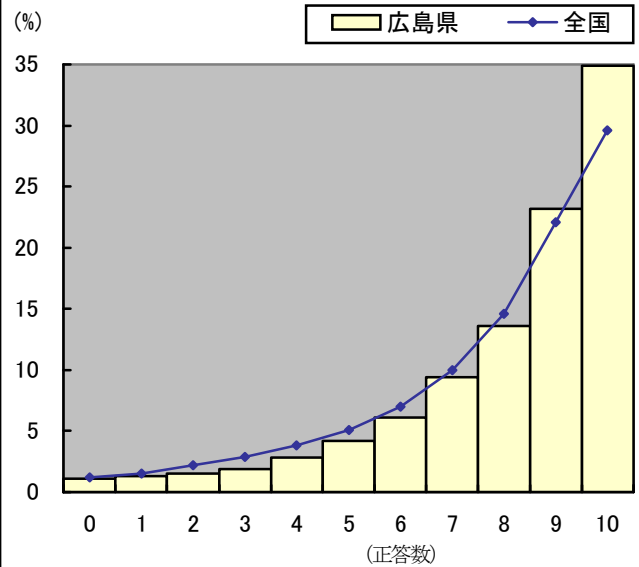
【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
話すこと・聞くこと	83.2	86.7	83.1
書くこと	67.7	70.4	77.2
読むこと	74.1	76.5	83.7
言語事項	85.8	87.5	89.5

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	80.8	82.7	86.1
短答式	84.6	86.6	89.4
記述式	—	—	—

国語B



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
話すこと・聞くこと	75.4	79.3	80.0
書くこと	91.6	93.2	94.1
読むこと	73.4	76.9	78.7
言語事項	73.0	75.6	75.2

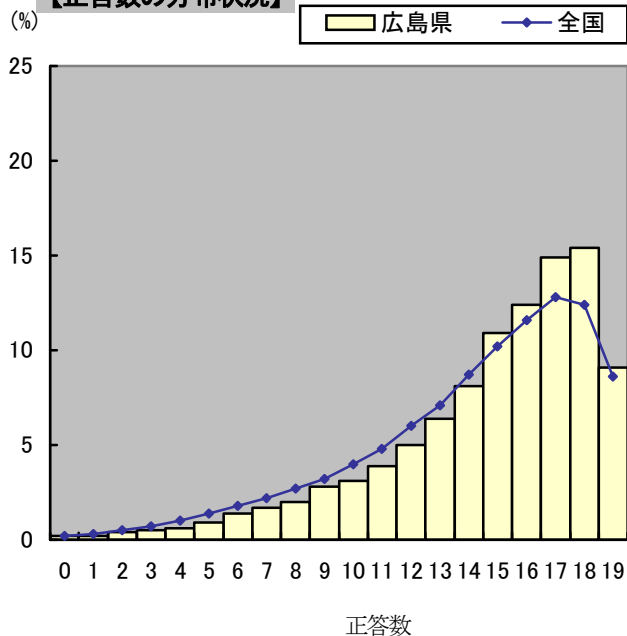
【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	75.3	78.3	78.2
短答式	91.6	93.2	94.1
記述式	73.5	77.9	80.4

【小学校算数】

算数A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

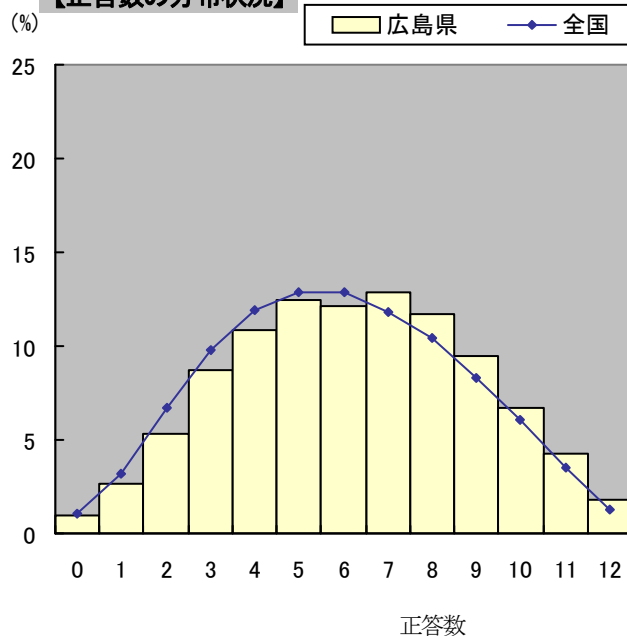
領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
数と計算	74.1	75.8	76.6
量と測定	74.1	77.9	80.8
図形	83.1	85.6	87.5
数量関係	65.7	71.8	67.7

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	76.5	79.3	79.6
短答式	72.8	76.1	77.1
記述式	—	—	—

算数B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
数と計算	55.8	57.0	65.3
量と測定	33.3	39.4	31.7
図形	42.0	46.0	45.0
数量関係	54.3	56.0	58.4

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	59.1	61.2	65.3
短答式	69.0	70.6	75.7
記述式	31.6	35.2	32.5

全国学力・学習状況調査の結果に基づく指導方法等の改善計画

広島市立舟入小学校

全国学力・学習状況調査 正答率

(〔A：主として知識〕 〔B：主として活用〕)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学 校 (%)	88.3	82.3	78.0	53.4
広島県 (%)	85.3	81.1	77.3	51.9

	主な課題	要 因
国 語	①目的や意図に応じて、必要な情報を関連付けて読み、理由を明確にして説明する。 ②目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話す。	○複数の情報を比べて読み、条件を満たしているものを選択した上で、その理由を明確にして説明できない。 ○聞き手へ効果的な問いかけをできない。
	＜課題解決に向けた国語科における具体的実践＞	
	①複数の情報に含まれる共通点や相違点を整理して検討するように指導する。 ②聞き手の反応を確かめながら話ができるようにする。	

	主な課題	要 因
算 数	①加法と乗法の混合した計算をすることができる。 ②示された説明を解釈し、用いられている考えを別の図形に適用して説明を考え、その説明を数学的に表現できる。	○計算のきまりを十分理解できていない。 ○他者の説明を理解し、自分のものとすることができない。
	＜課題解決に向けた算数科における具体的実践＞	
	①身の回りの事象をとらえた事例や資料から問題を設定し、課題にせまる情報を的確に取り出せるようにする。また、身の回りに算数にかかわる事柄を見つけ関連付ける活動を取り入れる。 ②言葉・数・式・図・表・グラフなどを有効に活用し、筋道立てて問題解決させる。 ③自分の考えをもつ時間を保障し、グループを活用して互いに伝え合い学び合う学習に取り組んでいく。 ④四則の混合した計算をする機会を設けて、継続して指導する。 ⑤他者が記述した説明を解釈し、別な場面で同じ考え方を使って、記述する場面を取り入れる。	

学力向上へ向けた全校的な取組（課題解決に向けた具体的実践）

- ① 全職員で本校児童の実態（本調査の結果）を共有し、校内研修等を通じて、授業改善に取り組む。通過率の悪い単元を全校で共通認識し、力点を置いて指導する。
- ② 様々な学習場面でペアやグループを取り入れ、互いに伝え合い学び合う子どもに育てる。
- ③ 各教科で習得した知識・技能を他教科や言語・数理運用科の学習で生かせるような学習活動を仕組む。
- ④ 全校児童を対象に、「生活リズムカレンダー」を実施し、家庭における生活・学習習慣を調査分析し、保護者と連携して定着を図る。